

必ずお読みください

Nyaveske トレーサー&マズルフラッシュユニット

■概要

本製品は、エアソフトガンに装着し、専用の蓄光 BB 弾を光らせることができるマズルデバイスです。マズルフラッシュを再現する機能も有しており、夜間や室内での射撃がより一層楽しめます。

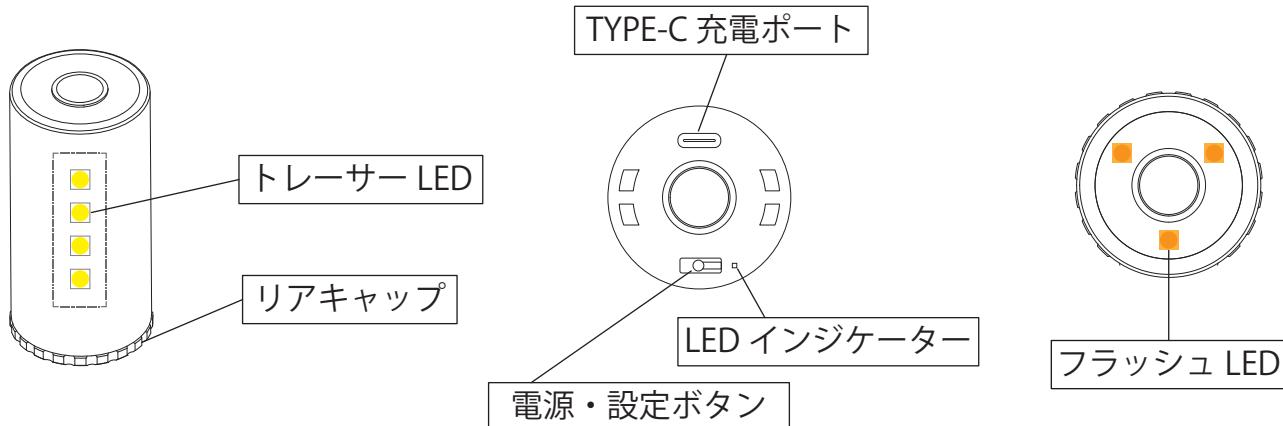
■諸元

外　径	30.5 mm
全　長	64.0 mm
重　量	51g
取　付	14mm逆ネジ / 11mm正ネジ
充電定格	USB Type-C (5V 1A)
バッテリー	内蔵リチウムイオンバッテリー (0.925Wh)
付属品	充電ケーブル / 11mm正アダプター

■特徴

- ・レッド / グリーン蓄光弾両対応
- ・最大で秒間 40 発 / 秒のサイクルに対応
- ・最大 2 万発射撃可能な大バッテリー容量 ※1
- ・マズルフラッシュのオンオフ切替可能
- ・IPX8 防水仕様 ※2

■製品各部の名称



■充電の手順

1. リアキャップを取り外します。
 2. 定格 (5V 1A) を満たす市販の USB TYPE-A 充電器に付属の充電ケーブルを差し込みます。
 3. TYPE-C 端子をトレーサー本体の TYPE-C 充電ポートに挿入します。
※電源が ON になっている場合は、LED が発光し、強制的に電源 OFF になります。
 4. 正常に充電されている場合は LED インジケーターが赤色が明暗を繰り返します。
※このとき、緑色で急速に点滅する場合は低電力エラーが発生しています。(低電圧アクティベーションの項を参照)
- 過放電を防ぐため、最長でも 2 ヶ月に 1 度は充電を行ってください。
- 充電中はその場を離れないでください。

※1 新品満充電状態での理論値のため、あくまで参考値としてお考えください。

※2 パッキンに劣化や異常が無く、正常に密閉されていることが条件です。なお、水没故障は補償されませんのでご注意ください。

■LED インジケーター

LED インジケーター	状態	備考
● ≪ ≫ ○	電源 ON	電源が ON になっている状態。
● ≪ ≫ ●	充電中	充電が正常に行われている状態。
● ≫ ○	充電完了	充電が完了した状態。
● ≪ 高速 ≫ ○	低電力エラー	低電力エラーが発生している状態。

■低電力アクティベーション

本製品は長期間充電がされないとバッテリーを保護するための低電力モードに切り替わります。

再度使用するためには、低電力アクティベーションを行い、十分な充電を行う必要があります。

※低電力モードは過放電から完全に保護するものではありません。

1. 充電の手順の 4 まで進めて、低電力エラーが出ていることを確認します。
2. 電源ボタンを LED インジケーターが緑色に点滅するまで押し続けます。
3. 電源ボタンを離し、充電ケーブルを取り外します。
4. 再度充電ケーブルを接続しすると通常通り充電が行われます。

※上記手順を実施しても充電が行われなかつた場合、故障の可能性が高いです。

■操作方法

電源を入れる

電源・設定ボタンを短く押すと LED インジケーターが緑色に 3~4 秒間隔で点滅し、電源が ON になります。

電源を切る

電源が ON の状態で、電源・設定ボタンを短く押すと各 LED が点滅し、電源が OFF になります。

電源 ON 後、30 分間射撃や操作が無いと自動的に電源が OFF になります。

マズルフラッシュ切り換え

電源が ON の状態で、電源・設定ボタンを長押しすると 1 度だけ LED が発光し、マズルフラッシュの ON/OFF が切り替わります。

スリープモード

電源が ON の状態で、1 分間 BB 弾が通過せず、デバイスが動かされないと LED が発光しスリープモードに入ります。

スリープモード中は LED インジケーターは発光しません。

BB 弾を数発発射するかデバイスを大きく動かすとスリープモードが解除されます。

■取付方法

警告

トレーサーを装着する際、意図せず BB 弾が発射されると予期せぬ事故につながります。
必ずバッテリー、マガジンを外し、弾抜きを行った状態で作業を行ってください。

14mm 逆ネジの場合

1. インナーバレルが 10mm 以上飛び出でていないことを確認します。
2. リアキャップ部分をつかみ、銃口方向（射線上は安全にしてください）から見て反時計回りに回してください。
3. それ以上ネジが締まらなくなったら取付完了です。

11mm 正ネジの場合

1. インナーバレルが 10mm 以上飛び出でていないことを確認します。
2. エアソフトガン本体に変換アダプターを銃口方向（射線上は安全にしてください）から見て時計回りに回してください。
3. それ以上ネジが締まらなくなったら、細い棒状の工具を使い、しっかりと締め付けてください。（締め付けが甘いと 4 の際に緩みます）
4. トレーサーのリアキャップ部分をつかみ、銃口方向（射線上は安全にしてください）から見て反時計回りに回してください。
5. それ以上ネジが締まらなくなったら取付完了です。

※14mm 逆ネジは奥行きが 7mm となっているため、それ以上締めこまないようにしてください。

■注意事項

- インナーバレルが10mm以上飛び出ていると反応しない可能性があります。(10mmは目安です。基本的に飛び出ないようにしてください。)
- 11mm正ネジアダプターを使用する場合はしっかりと締め付けてください。
- 本製品の分解(電源ボタンへのアクセスを除く)はお辞めください。
- 本製品の脱着を行う際や装着後、絶対に銃口を覗かないでください。
- 本製品を落下させるなど、強い衝撃を与えた場合は直ちに使用を中止し、発熱等異常がないか注視してください。
- 定格を超える充電器や充電ケーブルを使用した場合、火災や爆発につながる可能性があります。
- 30分を超える充電はバッテリーの熱暴走を誘発し、火災や爆発につながる可能性があります。
- 電源ボタンや充電ポートに強い力を掛けないでください。
- 本製品は水中での使用を想定していません。
- LEDやキャパシタ、バッテリーなどはご使用に伴って経年劣化を起こします。
- フラッシュLEDやトレーサーLEDの発光を直接見ないでください。失明や視力の低下の恐れがあります。
- 過放電してしまった場合、使用を中止してください。強制的に再充電を行うと火災や爆発につながる可能性があります。
- 本製品はリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。一般ごみや有害ごみとしての処分は火災の恐れがありますのでおやめください。
- 本製品を使用して発生した事故や損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

■トラブルシューティング

一見、故障や初期不良に思えても、そうでないケースが多くあります。

お問い合わせいただく前に今一度下記表をご確認いただけますと幸いです。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">充電が不十分な状態低電力モードに入っている電源ボタンがしっかりと押せていない	<ul style="list-style-type: none">充電を行う低電力アクティベーションを行う電源ボタンを正しく押す
電源が切れない	<ul style="list-style-type: none">電源ボタンがしっかりと押せていない	<ul style="list-style-type: none">電源ボタンを正しく押す
充電ができない	<ul style="list-style-type: none">充電が十分な状態低電力モードに入っている充電器、ケーブルに問題がある	<ul style="list-style-type: none">ある程度使用して残量を減らす低電力アクティベーションを行う正常な充電器、ケーブルを使用する
マズルフラッシュだけが光らない	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていないスリープモードに入っているマズルフラッシュ OFF になっている	<ul style="list-style-type: none">電源を入れるスリープモードを解除するマズルフラッシュを ON にする
BB弾が光らない	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていないスリープモードに入っている蓄光 BB 弾を使用していない蓄光 BB 弾が劣化しているインナーバレルが10mm以上飛び出している明るい場所で使用している	<ul style="list-style-type: none">電源を入れるスリープモードを解除する蓄光 BB 弾を使用する劣化していない蓄光 BB 弾を使用するインナーバレルを短くする暗い場所で使用する
マズルフラッシュ ON/OFF 切り替えができない	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていない設定ボタンがしっかりと長押しできていない	<ul style="list-style-type: none">充電を行う低電力アクティベーションを行う電源ボタンを正しく押す

■製品保証

トレーサー本体にはご購入日から6ヶ月間の保証が付帯します。

詳細は右記保証申請フォームをご確認ください。

► トレーサー保証申請フォーム

https://catairsoft.com/wty_trc/



※必ずトラブルシューティングを実施してからお問い合わせください。